

第一次朝堂院広場整備

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

シンボルゾーンの整備

国土交通省

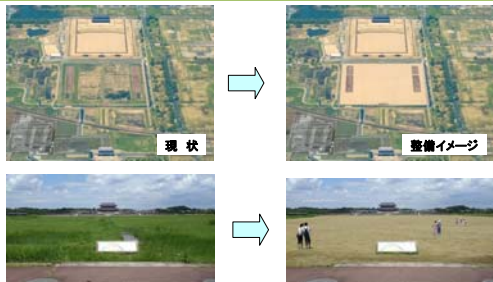
- 発掘調査・研究の進んでいる特別史跡区域の中枢部に設定。
- 朱雀門や第一次大極殿院などの復原建物等を中心に、歴史資産を活かした空間づくりを行い、併せて往時を彷彿とさせるイベント、歴史学習プログラム等を実施し、往時の平城宮の姿や様子を感じられるようにする。



第一次朝堂院広場整備

国土交通省

- 朱雀門から第一次大極殿院に至る宮の中心軸と往時の空間の広がり表現することをめざし、第一次朝堂院において広場の暫定整備の工事に着手。
- 本工事により、第一次大極殿正殿を真正面に見据えて往時の広がりを感じながらアプローチができるようになり、第一次朝堂院に復原された基壇を間近で体感することが可能となる。



第一次朝堂院広場整備(往時の空間を表現)

- 第一次朝堂院は現在は草地であるが、奈良時代は役人が儀式や饗宴などを行っていた広場。
- 現在は文化庁により朝堂(当時の役所建物)の基壇(建物の土台)が東西に遺構表示。
- 往時の平城宮の様子が感じられる空間として、遺構の確実な保存を最優先に、広場を整備。



第一次朝堂院広場整備(利便性の向上)

- 第一次朝堂院地区は草地で覆われており、そこが湿潤であるため、現状では立ち入りが困難。
- 今回の整備により、歩行者園路に迂回することなく、誰でも自由に行き来が可能。



整備イメージ

第一次朝堂院広場整備(遺構への配慮)

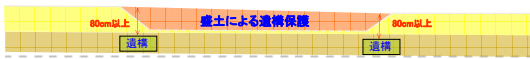
- 現状の遺構表示(朝堂の基壇等)を原則踏襲する。
- 整備にあたっては、既存の発掘調査結果から判明している地下遺構面の高さを踏まえて、その遺構面が傷つかないよう、現在の地表面から盛土。
- 盛土の表面は透水性のある土系舗装を採用。

遺構保護概要図

第一次大極殿院

第一次朝堂院広場

朱雀門



舗装構造図

